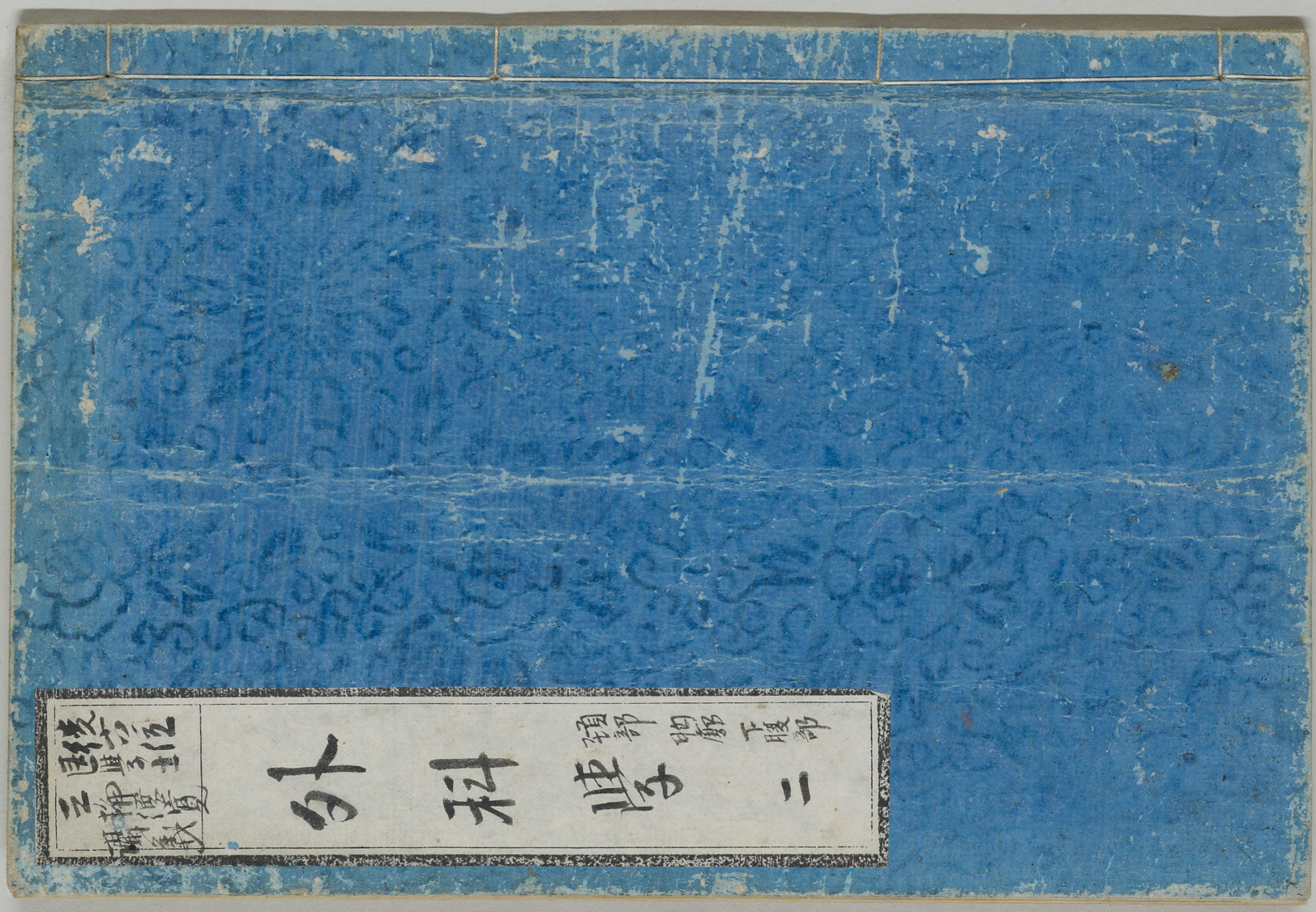
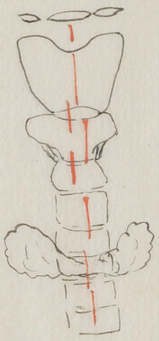
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
〔従六位医学士三輪徳寛講義〕外科学 二 頸部、胸廓、下腹部

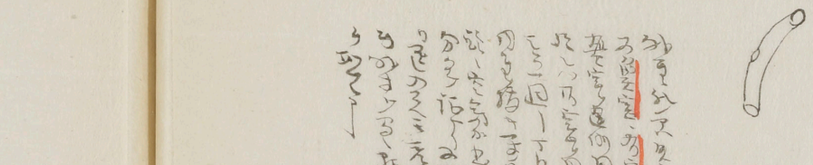

外科
頸部 胸廓 下腹部
二
三輪徳寛

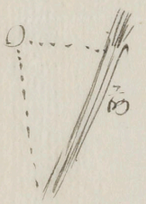
頸部外科

頸部皮下損傷

再發の時期と再發傾向

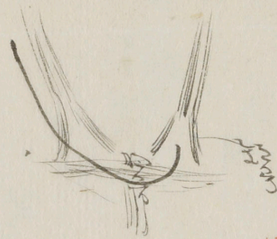






食道疾患

(一) 食道損傷



(二) 脛骨粗面が脛骨の前面に突出する部分をいう。膝蓋靭帯の付着部位である。

一次骨化中心は幼児期に出現し、二次骨化中心は思春期に出現する。

(三) 脛骨顆間隆起が脛骨の上関節面の中央にある隆起をいう。

(四) 膝蓋骨は大腿四頭筋腱の中に含まれる種子骨である。

膝蓋骨骨折は転倒や直接打撲で起こる。

○ 頸部脊髄損傷

(一) 脊髄は脊柱管内を走行する。

(二) 頸髄は――

(三) 横断は――

(四) 慢性期には――

(五) 重症度は――

(3) 胸部痛
(4) 気喘
神経衰弱ニ統制ノ事 助言 肺腹出スコト (5)
(5) 肺眠キ 腹脇 ひきつる 是ニテ
診断
一般ニ肺ノ方ニ重キヲ置キ診断シ胸部ノ疾患ヲ軽視スル傾向アルヲ以テ
診断ノ際ハ充分ニ注意シ胸部ノ疾患ヲ看過セザル様注意スルヲ要ス
尚ホ胸部ノ疾患ニ対シテハ其ノ病状ニ応ジ適当ナル治療ヲ施スヲ要ス
附記

(3) 胸痛 胸膜
(4) 気喘 (肺ヨリ肺ヲ圧迫スルモノ)

該患者ノ肋膜下ニ於テ放射状ニ連続何ヲ以テモ知リ得ル所断層ヲ鏡トナシ
十分ニ之ヲ注目スヘシ

肋膜炎外科的療法

肋膜炎ニ手術的療法トシテハ穿刺ニヨリ滲出物ヲ出シ又ハ切開シテ肋骨ノ一
部ヲ切除スル事アリ

(一) 胸腔穿刺法 [illegible]

之ニヨリ其ノ目的ヲ達スル事多シ

適応 1) 肺臓被圧迫症ヲ起シ之カ為メ呼吸困難ヲ起シ呼吸困難ト
来ル時ハ之ヲ行フベシ

(2) 肺臓被圧迫ヲ起シ一定ノ時期ヲ経過シ内科的療法ニテ吸収セザル
(3) 滲出物ノ性質ヲ知ル為メ試験的穿刺ヲ行フ
穿刺ニハ細キ針ニテ穿刺シ[illegible]作用ヲ以テ吸引シ又ハ太キ針ニテ穿刺シ自
然ニ排出シ又穿刺シ自然ニ排出セシムル事アリ
[illegible]

毎日週ニ穿刺シ排出セシムル[illegible]

ハ相当ノ[illegible]ノ[illegible]ヲ去ル[illegible]

一回ニ[illegible] [illegible] [illegible]

(二) 切開法 [illegible]

適応 膿性滲出物ハ穿刺シ排出スル事ハ困難ナリ
之、滲出物化膿性ノ時
穿刺スルニ切開スル場所、肋骨ノ後部ニ[illegible]ヲ付ケ穿刺ス
ル切開ノ肋骨ヲ[illegible]ヲ付ケ滲出物[illegible]
又ハ肋骨ヲ切開シ[illegible]ノ部ニ[illegible]
[illegible]場所ヲ適当ニ[illegible]穿刺シ[illegible]
肋間ヲ明ニセズ[illegible]肩胛骨下隅ヨリ指ヲ離シ
部ニ下部ニ穿刺切開ス

胸廓ヲ切開シ[illegible]膿性ノ時[illegible]肋膜腔[illegible]
縮シ肋骨[illegible]
ニ[illegible]
肋骨[illegible]

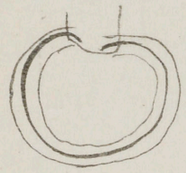
(二) 腸壁ノ創

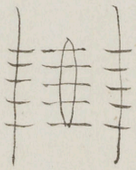
(三) 腸壁ノ異物

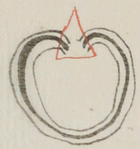
(四) 腸壁ノ破裂

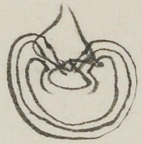
(病源) 腸壁ノ破裂

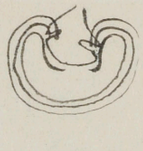
腫物・腹痛

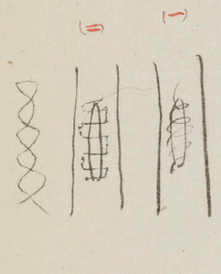


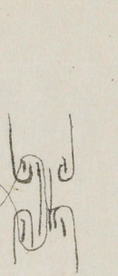


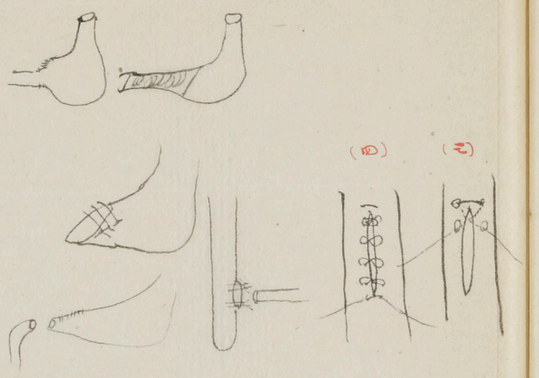




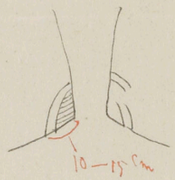


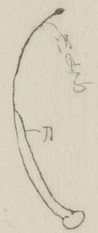

(一)
(二)
C = A+B

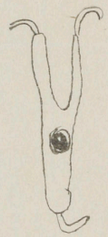

A = B+C

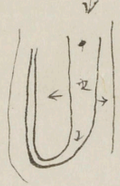

(三)
(四)

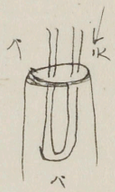
腹内腸出術

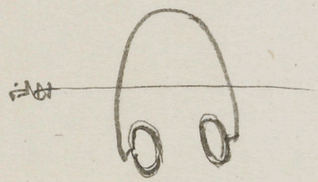

10–15 cm

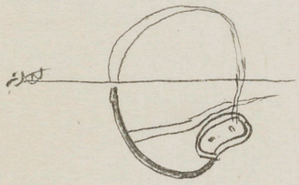


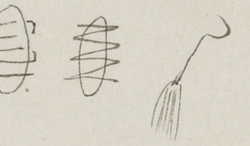


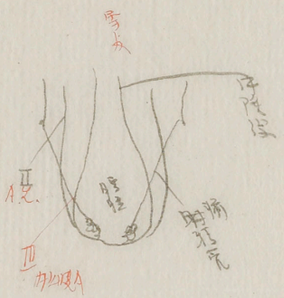


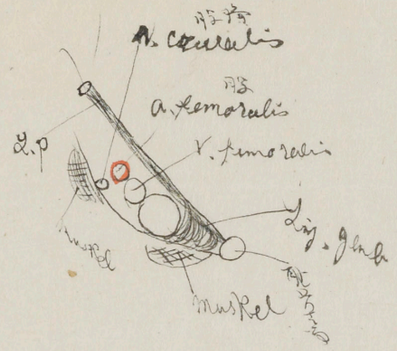
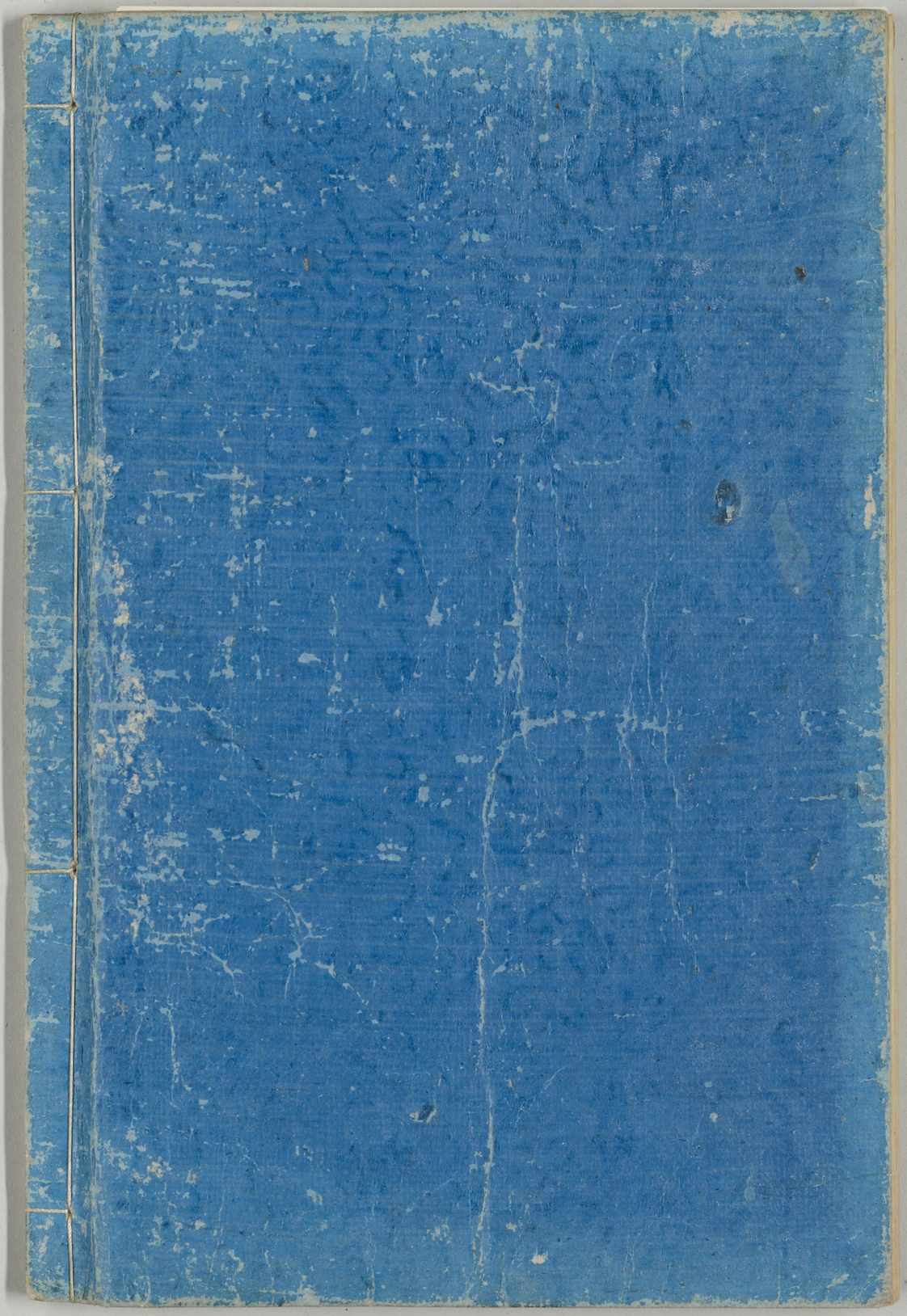









II
III


N. cruralis
a. femoralis
V. femoralis
M. Rect.